

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：Why Jesus Christ matters? (CE)

2024年
12月



2024-25 年度クラブテーマ「市民と繋がろう・市民に知らせよう」

川越ワイズ 25周年
埼玉クラブクリスマス例会

12月は師走。キリスト教界は待降節とクリスマス。世界中のYMCA・ワイズがクリスマスを祝い、皆が再会と感謝と懇親のひと時を過ごした。(本来クリスマスは1月5日で終わる)さて本ブリテンには伊藤メンが日中友好の一文、上松メンが「年賀状」談を寄稿。夜談会の1年を写真で綴ってみた。今月のブリテンも頑張っって月内に発行。



[写真メモ] 12月1日川越の洒落たレストランで川越クラブ25周年を多くの仲間やYMCA職員と祝った。埼玉クラブの例会は「き咲きてらす」で。最後の写真はベツレヘムの教会「瓦礫の中のキリスト」写真は昨年もブリテンに掲載。パレスチナ人のことを覚えて今年末年始を迎えたいです。

今月の聖句

「いと高き所で、栄光が神にあるように。
地の上で、平和がみこころにかなう人々に
成るように。」

(ルカによる福音書2章14節)

1月「新春」例会

日時：1月20日(月)10:00～12:00
会場：市民活動サボセン(浦和駅前パルコ9階)
プログラム：新バナーお披露目・今後の活動談義

1月夜談会

日時：1月13日(月)午後6時～8時
会場：サイゼリア(浦和駅東口)
・気楽に知り合い、笑いながら見識を深めるさばけた市民の出会いと集いの場(覗いてください)



◆◆◆ エッセー ◆◆◆

◆ 「于(ウー)さんに望む」

伊藤 澄夫



2024年12月16日、埼玉ワイズメンズ・クラブのクリスマス例会が「き咲きてらす」で開かれ、クリスマス・キャロルとゲームで楽しんだ。

大連から来日して7年、浦和に住む40代の好男子、于陽さんとも会えて嬉し買った。遼寧省大連といえ、戦前は日本人が最も多く生活していた。近所にも終戦後引き揚げてきた人の中に県議や教育長になった方がいた。東北地方(旧満州)は国策による開拓団が多く、学校の同級生にも瀋陽が出生地の友人がいた。

私は1971年国交正常化の前年26歳の夏、市職員だったが学生代表団40人の一員として一ヶ月ほど訪中した。9月初め北京の人民大会堂で周総理、郭沫若科学院長、王国権外相など政府要人の接見を受け、夜10時過ぎから夜中の2時半頃まで、かつて千葉県市川市に20年在住した日本通の郭沫若氏を交えて両国の将来について歓談を続けた。周総理は歓談中も郭沫若氏にアドバイスを求めて“郭先生”と日本のことを尋ねる気配りを忘れなかった。



いま私は中国からの留学生を毎年1年間の期限で日本の大学で学ぶ費用と宿舎を世話する趣旨の「日中友好交流の会」に入って相互交流し、すでに10数人の留学生が日本で過ごした思い出を胸に帰国している。この体験が両国の将来の交流に活かされることを願っている。

私は学生時代の中国語の授業は竹中伸先生だったが、文革の混乱で落命した著名な作家で、ノーベル文学賞候補にもうわさされた老舎(本名は舒慶春)が生前、著作の日本語翻訳者としてみづから竹中先生を選んでいて、卒業してずっと後になって知った。またNHK教育テレビ「中国語会話」の講師も務めた陳淑梅先生のように日本に住んで活躍

する方もいる。このように日本と中国の橋渡しの働きを地道に続けることが大切だと思う。教養ある于さんも優れた通訳・翻訳家となる気がする。◆

◆ 「年賀状」

上松寛茂



例年12月も中ごろを過ぎると年賀状書きに追われる。かつては正月3が日に認めることも多々あった。最近はメールなどで済ませ、高齢者の多くは「年賀状の卒業」を伝える但し書きの便りが年々増えてくる。「はて、今度は何を書こうか」と年末の整理をしながらの思案する日々が続く。「健在」だけを伝えるアリバイ証明も意味はそれなりにあろうが味気ない。巷には年賀状のデザインを駆使した華やかな見本の紹介などがヤマほどあるが、こちらには興味を全く惹かない。「謹賀新年」だけの無味乾燥な年賀状は書きたくないし、いただいても嬉しくない。差し出す枚数もかつて500枚以上はあったと思うが、完全リタイアをし、事実上の隠居の身ではだんだん減り続け、それでも200~300枚は投函する。差し出す方の大半は前年にやり取りした年賀状の交換というスタイル。なかなかやめられない。もう、何十年も年賀状だけのやり取りを継続している友人、知人もいて、かつて親しくしていた方のささやかな近況を知るのには懐かしさとうれしさが無上にこみ上げてくる。お正月の数少ない楽しみの一つでもある。本文に住所、電話番号にメールアドレスも必要だ。

小生は20代のころからスタイルは一貫し、横書きで、この1年の自らの家族や周辺の出来事、世界や日本での社会情勢に対するひと口コメントを付け加えることにしている。浮世の義理や職業上の儀礼的な挨拶状とは決別、プライベートなストーリーを優先している。

年賀状に聖書の言葉を引用している便りも嬉しい。自らの信仰を知られたくない人もいるだろうが、その人の真実を語る姿には敬意を表したい。◆

活動・会議メモ

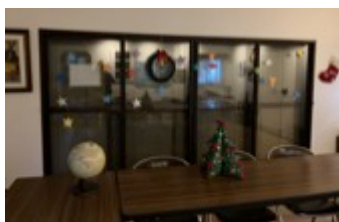
◆ 12月「夜談会」

今月9日に浦和駅東口「サイゼリア」にて開催。浦和に家族で住んでいるという于(ウー)氏が初参加。浅羽が国際交流センターの「にほんごのへや」で知り合った。ここの学習者から日本人の友人を作るのが難しいとよく聞かされていた。夜談会を出会いと知り合いの場にしたい。(写真は次ページ)

◆ 12月「クリスマス」例会

16日に「き咲きてらす」にクラブメンバーや、関係者が集まった。本邦初のチーム対抗「俳狂わせ」ゲームで頭の体操。途中に歌を挟んで、後半は折り紙で「星」を作り、窓ガラスに貼り付けた。結構皆さん真剣に取り組んだ。終わった後の笑顔は本物のはず。写真は皆が帰った後、囁き合う星達。

(表紙と伊藤メンの文中の写真もご参照下さい。)



埼玉ワイズ・夜談会 2024年1月～12月

今年もほぼ毎月第2月曜に浦和「サイゼリア」で市民の溜まり場「夜談会」を開催できたこと感謝。市民・奉仕活動の話題はつきない。(8月休み)

掲載した一連の写真は上段左から月別に1・2・3、2段目4・5・6、3段目7・9・10、4段目11・12。サポセンの雛人形の前や、浦和駅前でも撮った。

[ゲスト/ビジター] 小口・浅羽恵・大輪・麻生・中澤・工藤・山口・浅香・宮原・上松(コメット)・大西・森下・金子・于 [メンバー] 上松・衣笠・塀和・高岡・浅羽

(順不同・敬称略)



◆「エスベン君日本縦断完走を祝う会」

覚えてるだろうか。2016年9月、19歳だったデンマーク青年エスベン君をワイズ西日本区・東日本区がSTEP生として受け入れた。ワイズ宅を渡りながら西から東へ移動し、東京YMCA山中湖キャンプ場にも立ち寄った。日本に強く惹かれた彼は、その後度々日本に来たそうだ。28歳になり日本での研究も一段落したこの秋、青森から屋久島まで自転車縦断を無事完走。神戸ポートY'sの大野メンの呼びかけで18日に都内の焼き鳥屋でエスベン君を囲む夕食会が開かれた。当日は大野夫妻、福島メン（東京むかでY's）、石田さん（宝塚Y's多胡メンのマゴメット）とでエスベン君の上手いおしゃべりに聞き惚れた。

* 写真上は初来日時。下は今回のエスベン君。(浅羽 記)



出し活動を一緒に続けたと聞いた。彼らに本物のボランティア精神と、ふるさとへの愛情を感じました。弘前市在住の立教大学Y時代からの友人が長患いのなか毎年のように新鮮な野菜を届けてくれていて、一緒に礼拝を守ろうと話しています。そのためにも早く外出できるように努力していきます。

◆ 三浦雄二メン（休会中）

最近政治がおかしい。世間で人口減少を心配する声をよく聞けけれど、日本の面積を考えると7千万人くらいが適正規模だという見方もありますね。読書で正月を過ごそうと思っていて、これから図書館から小説や歴史の本をまとめて借りてきます。今A. アンジェラ著「古代ローマ人の24時間」を読んでいます。来年も体調を整えることに専念したい。図書館往復を回り道すると8千歩になるんです。

◆ 麻生由美子メン（夜談会常連）

この6月で全ての仕事を辞めたら、いきなり収入がなくなっちゃった。考えれば当然だけど、やはりびっくり。正月は孫がお年始で来るのが楽しみ。仕事は辞めたと言ったけど、千葉県でのオレンジカフェはこれからも手伝っていきます。埼玉ワイズの月例「夜談会」もサイゼリアでなら、これからも続けられるかな。来年もよろしくね。

* 上に掲げた3名のお便り、実はこちらから電話でつかまえて語ってくれたことを短くまとめたもの。原稿依頼に無反応でも、これだと話がはずむ。5分くらいで打ち切らせてもらおう。これからもこれで行こうか。(編集子)



仲間のお便り



◆ 12月の俳句 塀和光二郎メン（俳号 愚道）

他人事（ひとごと）と思へぬ火事の近さかな

世間でも私の家の周りでも火事が多いこの頃です。火事の恐ろしさをしっかりと胸にきざんでいきましょう。

買い出しの時から香るおでんかな

今晚はおでんと決めて買い出しにきました。大根、がんも、たまご大好きです。なんて考えるだけでおでんの香りがどこからかただよってきますね。



ビル現場ストーブ囲み打合せ

まだ現役で働いていた頃、工事現場に行きその日の打合せをストーブを囲みながらやったものです。

毎日生活のことや周りの植物や生き物を観ると季節や人生を感じ一句捻りたくなります。 愚道

◆ 水無瀬隆造メン

能登半島の地震後、輪島では様々の職業の住民が自ら被災したにもかかわらず自発的に大量の炊き

* YMCA World News はおやすみします。

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会 (12/09)	8	4	4
月例会 (12/16)	15	5	10



ワイズメンズクラブ 紹介

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は世界的な社会教育団体 YMCA を支える社会人クラブの国際的な繋がり。若者と地域への奉仕と、国内外の交流を進めています。肩書き・性別・政治・宗教・年齢差を問わず、皆が対等。ボランティア活動はしたいけれど、最初の一步が踏み出せないという方、ワイズからスタートしませんか。随時募集しています。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動してきて、再来年は50周年です。活動は「月例会」(サポセン)と「夜談会」(サイゼリア)とYMCAサポート。(年会費:40,000円)
* 詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553)
* Y's Men International 東日本区の URL は <https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>